



季刊あそーと 第一号

令和5年
3月発行

皆様こんにちは。あそーと代表の石原です。2013年11月にあそーとを立ち上げて今年で10年目となりました。皆様のご協力のおかげもありましてここまで続けることができました。本来でしたら法人立ち上げ当初からきちんとした活動報告をするべきではあったのですが、元来のずぼらな性格でありまして、明日こそ会報誌を作ろう巻頭挨拶を書こう書こうと思いながら気がつけば10年が経過していました。このままではすぐに20年になりますので、やっとのことで筆を取った次第です。ひとまず、年4回発行の会報誌「季刊あそーと」を始めます。会報誌のタイトルも考えだすとまた10年が経過しそうなので、シンプルなタイトルにてスタート致します。今後ともあそーとをどうぞよろしくお願い致します。



あそーと事業紹介

高校内居場所カフェ事業 その1

平成29年より府立野崎高校と茨田高校にて高校内居場所カフェという事業に取り組んでいます。カフェというその名のとおり、そこは月2回放課後にオープンする生徒のためのカフェです。無料のおやつやドリンクが用意され、メロウな音楽が流れ、生徒がゆっくりとした時間を過ごします。生徒は珈琲を飲みながらお喋りをしていたり、友人とトランプに興じたり、1人で本を読んだりしています。そしてその空間には親でも先生でもないエプロンを付けた大人(スタッフやボランティア)がいます。大人も一緒にトランプをしたり、生徒と話し込んだりしています。



サードプレイスという言葉をご存知でしょうか。ファーストプレイスは家庭、セカンドプレイスは職場(子どもだと学校)です。サードプレイスは固定的な人間関係や緊張感から解放されているリラックスした空間で、気軽に立ち寄れてたまたまそこにいた人と気楽におしゃべりができるような場所です。高校内居場所カフェはセカンドプレイス内に設置されたサードプレイスです。学校に通う子どもたちが生活をする環境はさまざま

です。家庭内での暴力があったり、自宅に居場所がなかったり、家族のケアを担っていたりと、常に緊張と共に家(ファーストプレイス)で過ごす生徒がいます。また教室(セカンドプレイス)で行われる人間関係や活動から強い緊張を感じる生徒もいます。多数派のコミュニケーションにうまく馴染めない生徒にとっては教室は緊張感の高いところとなることが多いです。高校内居場所カフェはそんな彼女たちが放課後のひと時ではありますが緊張感から離れた時間を過ごせる場所です。この緊張感から離れた時間＝安心して過ごせる安全な場所の提供が高校内居場所カフェ事業の一つの目的です。

もう一つの目的は生徒が抱える困り感の潜在化の予防です。困難な状況にある人が自身の困難さを人に語ることは非常に難しいことです。学校にも相談室はありますが、ドアを叩くためには自分が困っていることを言葉にできる、知らない人に自身のことを話す緊張感や恥しさに耐えられる、など多くのハードルを越えなければいけません。このハードルを越えられない生徒は潜在化してしまい困難さを一人で抱え込み孤立していきます。孤立は問題を複雑化させていきます。

「困ったらなんでも相談してね」と言われただけでは、このハードルは越えられません。支援者の前に現れてくれるならば、相談の積み重ね⇒関係性の構築、と進めていくことができますが、そもそも困っている生徒は支援者の前に現れてくれません。しかし高校内居場所カフェでは、カフェの大人としてまずは生徒に出会うことができます。

生徒にとっては大きなハードルを越える必要がない参加の敷居が低い場所です。相談なんてしないでいいし、しんどさを抱える子どもになる必要もありません。高校に通う1人の生徒としてカフェを利用することができます。大人から見ると、参加の敷居が低いことで関係性が貯まる機会を始めることができるということです。カフェでのただのお喋り、おやつやドリンクの受け渡し、推しの布教、一緒にトランプをする、誕生日おめでとうの一言、そのような関わりを続ける中で、ある日ふとしたタイミングで生徒がポロっとこぼします。

「また昨日も怒鳴られて、」

「今日は朝から何も食べてないねん。」

ふと話してくれたところから、生徒が抱えるしんどさが発見され支援がスタートします。関係性の構築はじめての相談に繋がっていきます。…その2へ続く

▶▶次号では3つ目の目的についてお話をさせていただきます


就労継続支援 B型 book and cafe cocoaru 仕事紹介 ドリップバッグコーヒー作成

book and cafe cocoaru ではドリップバッグコーヒーの製造・販売に取り組んでいます。様々な障がいをお持ちの利用者さんが、それぞれの得意とする分野やその日の体調、気分に応じて取り組む作業を相談して決めています。



1. ピッキング … 虫食いや割れている豆を取り除きます。この地道な作業が雑味を取り除き、すっきりとした味わいに仕上がります。
2. 袋の準備 … 成分表示のシールをズレなくまっすぐに貼ります。
3. 梱包 … フィルターに封入したコーヒー豆を袋に入れ、シーラーの熱で密封します。



◀自家焙煎珈琲はコチラよりお買い求めいただけます
または『BASE ココアル』で検索 



本の寄付を大募集中です！

今年度4月～1月時点での寄付本冊数【2,805冊】

寄付をいただきました本は利用者さんの作業を経て cocoaru が古本として販売します。売上は利用者さんの工賃となります。パソコンが得意な利用者さんが価格の確認や出品作業を行い、手先の器用な利用者さんが清掃作業を行います。得意な作業を分担し、無理なく作業に取り組んでいただいています。



ご不要になった本を寄付して下さる方は下記までご連絡下さい。お近くでしたらお引き取りにお伺いすることも可能です。詳しくは左 QR コード、またはココアル HP をご覧ください。
発行元: NPO 法人あそと TEL06-6932-2700 メール cocoaru@npo-assort.com

